

2014 環境シンポジウム

～ 災害に強く、より安全・安心な住まい環境を ～

趣 旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会は、安全・安心で快適な住まいと持続可能な社会の実現を目指し、これまでも省エネ・創エネ・環境に配慮した住まい・まちづくりに取り組み、さらにエネルギーをより賢く効率的に利用できる、スマートハウスやスマートシティの普及を推進しています。環境分科会では、環境行動計画「エコアクション 2020」に基づき、毎年その進捗状況を確認し、目標達成に向けて活動してきました。

一方、わが国では東日本大震災以降も、かつて経験したことのない豪雨やそれに伴う土砂災害などの自然災害に幾度も襲われ、尊い人命や大切な住まいに大きな損害を被っています。今後高齢化人口の比率がますます高まることと合わせて、住まい環境の側面からどのように頻発する災害と向き合い、住み手の安全や安心を支えていくことができるのか改めて問われています。

そこで、今年の環境シンポジウムでは、私たちプレハブ建築協会が住まいづくり・まちづくりに導入してきた環境負荷削減技術に加え、住まいの安全性、住み手の生活の持続性を高める方法について考えます。私たちが直面している新しい課題を克服する取り組みを構想・提供し、より広く訴求することで、住宅市場における工業化住宅の魅力要素として役立てることを目的に開催します。

開催日時

平成 26 年 12 月 3 日 水曜日 13:00～16:45 (受付開始 12:30)

会 場

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室

特別講演

『生活を持続できる住まい・まち』

東京都市大学 名誉教授／株式会社 岩村アトリエ 代表取締役 岩村 和夫氏

【講演要旨】

3.11 以降も毎年自然災害による被害が多発するわが国にあって、平常時という期間は大きな自然災害と自然災害の狭間にすぎません。すなわち、我々は災害の狭間に暮らしているという前提に立つ必要があります。そのため、持続可能な住まい・まちづくりを実現するには、災害を克服しつつ、住み手と地域の安全を保障し、心地よく持続する暮らしを実現するといった「人間の安全保障を確保する」住まいやまちづくりが求められます。

今回の特別講演では、長く日本の環境建築の開発・普及、海外との技術交流に取り組み、またそれらをベースとして、現在では「安全保障住宅」や「生活持続計画（LCP）」の必要性を提唱されている立場から、住宅産業が住み手の暮らしの安全性・持続性を支援していくための「スマート」な処方箋を示唆していただきます。

スケジュール

| | |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | 開会あいさつ |
| 13:10～14:20 | 特別講演「生活を持続できる住まい・まち」 |
| 14:20～14:50 | 環境行動計画「エコアクション 2020」2013 年度実績・取り組み報告 |
| 14:50～15:00 | (休憩) |
| 15:00～16:40 | 事例発表 (1) パナホーム株式会社 「ゼロエネを超える住まいの開発について」 (2) ミサワホーム株式会社 「エムスマートシティ熊谷の取り組みについて」 (3) 積水ハウス株式会社 「『5本の樹』計画と『新・里山、希望の壁』プロジェクト」 (4) 積水化学工業株式会社 「スマートハイム F A N における省エネの住まい方提案」 |
| 16:40～16:45 | 閉会あいさつ |
| 16:45 | 閉会 |

主催：一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会

講演者紹介

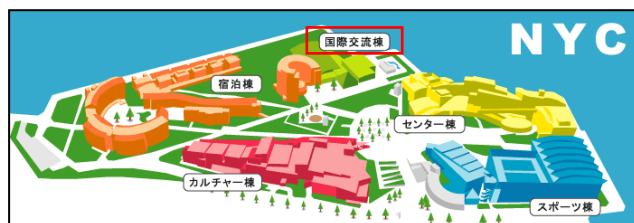
岩村 和夫 氏 (東京都大学 名誉教授/株式会社岩村アトリエ 代表取締役)

- 〔略 歴〕 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程終了後、フランス政府外務省給費研修生（技術交流）として渡仏
 1974年～ 在パリ、「Georges Candilis 事務所」入所
 1976年～ 在アテネ、「Candilis-Denco 事務所」に転属
 1977年～ ドイツ、ダルムシュタットにドイツ人パートナーとともに「建築都市設計同人 AG5」設立。
 主に中近東、ドイツで建築、都市デザインを中心とした業務に従事
 1980年～ 帰国後、東京に「岩村アトリエ」設立（1990年法人化）。以来、同所を拠点とし、エコロジカルな
 「環境デザイン」の立場に立ち「持続可能な社会」の構築に資する建築・まちづくりのソフト・ハード両面
 における調査・研究・開発、および企画・計画・実施に係わる活動に従事
 1998年～ 武蔵工業大学環境情報学部教授就任（2002年同大学院設立とともに同教授就任）
 2002年～ 日本建築家協会（JIA）理事（2004年同副会長）就任、国際建築家連合（UIA）理事就任
 2008年～ 国際建築家連合（UIA）副会長、シンガポール政府国際諮問委員 就任（2011年まで）
 2009年～ 東京都大学（旧武蔵工業大学）都市生活学部教授（大学院環境情報学研究科環境情報学専
 攻教授兼任）就任（2014年3月まで）
 2014年～ 東京都大学 名誉教授、清華大学（北京）珠海学院（香港）客員教授 就任 現在に至る

お申し込み・お問い合わせ

- お申し込み 下記の「環境シンポジウム参加申込書」にご記入のうえ、FAXにて送信下さい。
 尚、定員（250名）を超えた場合は、お断りさせていただくことがございます。
 参加費 1,000円（テキスト代）
 お問い合わせ 一般社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
 TEL (03)5280-3121 FAX (03)5280-3127
 E-mail jyutaku@purekyo.or.jp

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 ご案内図



- 小田急線
参宮橋下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線
代々木公園駅(C02)下車（代々木公園方面4番出口）徒歩約10分

一般社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局 行

FAX (03)5280-3127

「環境シンポジウム参加申込書」

平成26年11月18日（火）までにFAXして下さい

| | | | |
|--------------|-------|-----|--|
| 会社名 (団体名) | | TEL | |
| 氏名 | 所属・役職 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

一般社団法人プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-3-13 M&Cビル5階